

各地域での関連する取組

コウノトリを契機とした鳴門市の取組について



第3回 四国圏域生態系ネットワーク推進協議会 鳴門市資料

鳴門市の概要 (1) 立地



豊かな食財「なると金時」「れんこん」
「梨」「鮮魚」「鳴門わかめ」・・・

鳴門市管内図



鳴門市は、神戸淡路鳴門自動車道を経て京阪神地域からの四国側の玄関口となっている。

市内には、県内屈指の観光施設「渦の道」「大塚国際美術館」やJリーグ・徳島ヴォルティスのホームスタジアム、また、西部地区には四国八十八ヶ所霊場の1番札所2番札所、第九アジア初演に関する展示を行っているドイツ館等がある。

鳴門市の概要（2）多様な観光資源+食





蓮

(オス)

識別番号 : J0140



なる

(オス)

識別番号 : J0141



あさ童女

(メス)

識別番号 : J0142



歌 (うた)

(メス)

識別番号 : J0181



百 (もも)

(メス)

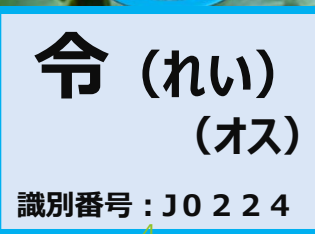
識別番号 : J0182



藍 (あい)

(メス)

識別番号 : J0223



令 (れい)

(オス)

識別番号 : J0224



和 (かず)

(メス)

識別番号 : J0225

コウノトリおもてなしれんこんの推進



平成29年9月より、
「コウノトリおもてなしれんこん」
の出荷を開始。



30年度は出荷件数が増加。

仕向先が増加。4市場→5市場

令和元年～ 当面の目標

- (1) 出荷量を3,670箱から5,000箱(25t)以上への増量(約1.5倍)する。
- (2) 仕向先(市場)を5件から6件に増やす。
- (3) レンコンカレー等の新たな商品の認証主体の拡大を目指す。
- (4) 新たな品目として「米」の認証への研究を進める。
- (5) エコファーマー・特別栽培の推進(板東地区→堀江地区・大津地区)

コウノトリをテーマとした経済循環・活動拠点の構築

農産物直売所「えがお」



自然環境や
食の大切さ
を伝える
体験型食育

現地（レンコ
ン田等）での
フィールド
ワーク、観察
会やサイクリ
ングとの連動



通常の産直施設 + α の魅力

道の駅整備事業について（ゲートウェイ構想）



地元住民の参画・協力

JA産直市との連携

体験コーナー、各種イベント

役割分担による効率化

産業振興・地域活性化

- ・四国の玄関口という立地を活かした魅力発信
- ・6次産業化の拠点として交流人口増加に寄与

その他の取り組み



(参考)

○豊岡市・兵庫県立コウノトリの郷公園など視察

豊岡市役所や豊岡市立ハチゴロウの戸島湿地において、
取組状況を聞き取り

- 市内テナントでコウノトリ絵画コンクールの作品展示を実施
- コウノトリ営巣地周辺
生き物調査や体験レンコン掘り
料理教室等を開催
- ワーキング(市・行員・経済団体)



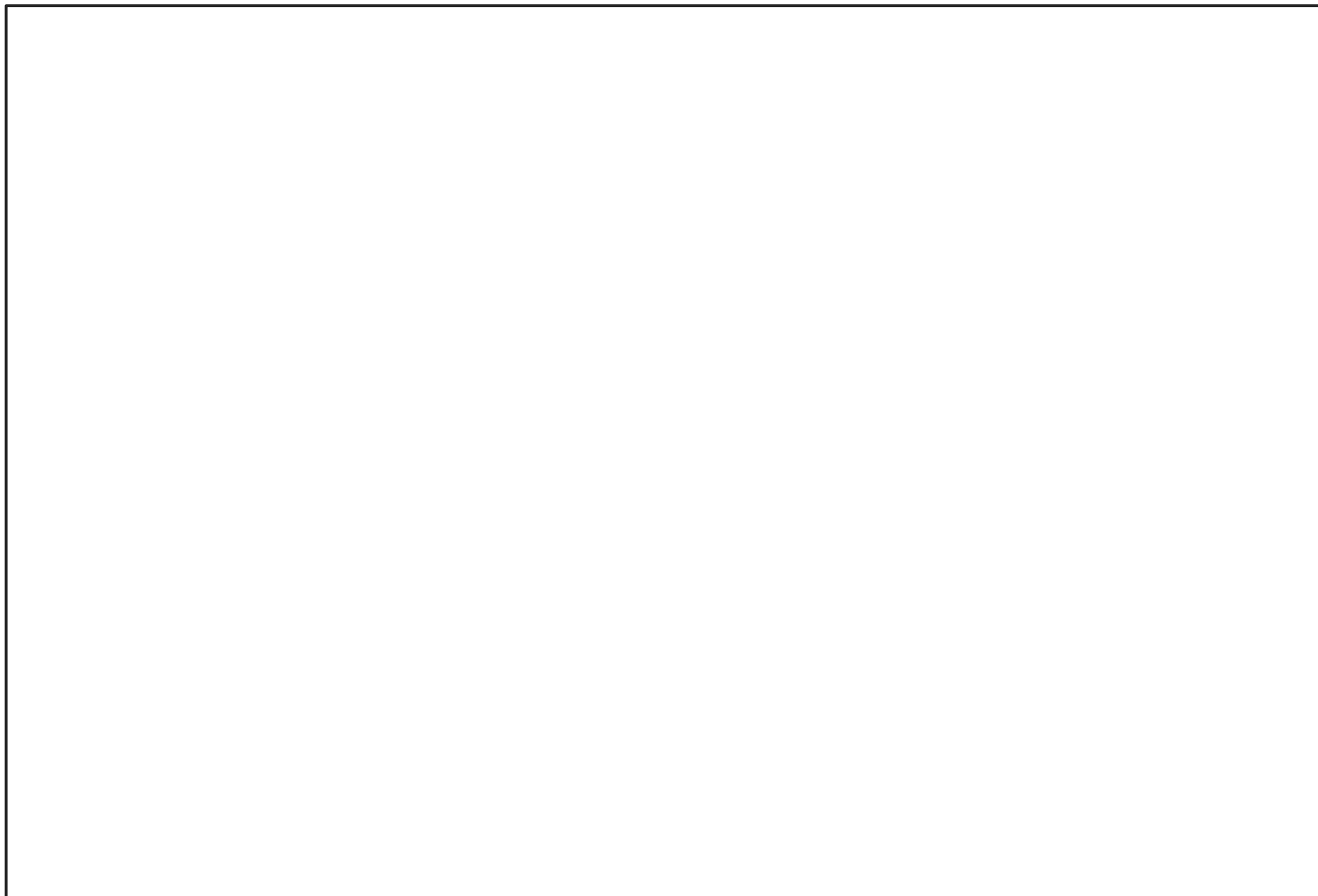
今後の取組について



鳴門市うずしお観光協会 鳴門百景フォトコンテスト入賞作品

徳島県 阿南市





徳島県阿南市

徳島県阿南市では、四国の市町村としては初となる「生物多様性地域戦略」を策定しています。また、生物多様性に関する普及啓発が行われています。

【計画等の策定】

◆「生物多様性あなん戦略」の策定

- 阿南市では、生物多様性保全と持続可能な利用の重要性を浸透させ、市民、事業者、民間団体、行政など様々な取組を進めるため、阿南工業高等専門学校と連携協力のもと、「生物多様性あなん戦略」を2019年11月に策定しました。【取組主体：阿南市】

【地域・人づくりに関する取組】

◆「阿南市生物多様性ホットスポット」の普及啓発

- 阿南市では、2015年に阿南市の豊かな自然を守るために、みんなで守りたいすばらしい自然を「阿南市生物多様性ホットスポット」として6箇所を選定しており、パンフレット等で市民への普及啓発を行っています。【取組主体：阿南市】

◆自然体験、環境教育の推進

- 阿南市生物多様性フォーラムを開催しています。2019年2月9日に第6回阿南市生物多様性フォーラム「生きものと暮らすまちづくり」を開催しました。また、第7回阿南市生物多様性フォーラム「みんなで盛り上げよう 生物多様性あなん戦略」を2020年2月8日に開催の予定です。

【取組主体：阿南市、阿南工業高等専門学校】



「生物多様性あなん戦略」



「阿南市生物多様性ホットスポット」のパンフレット

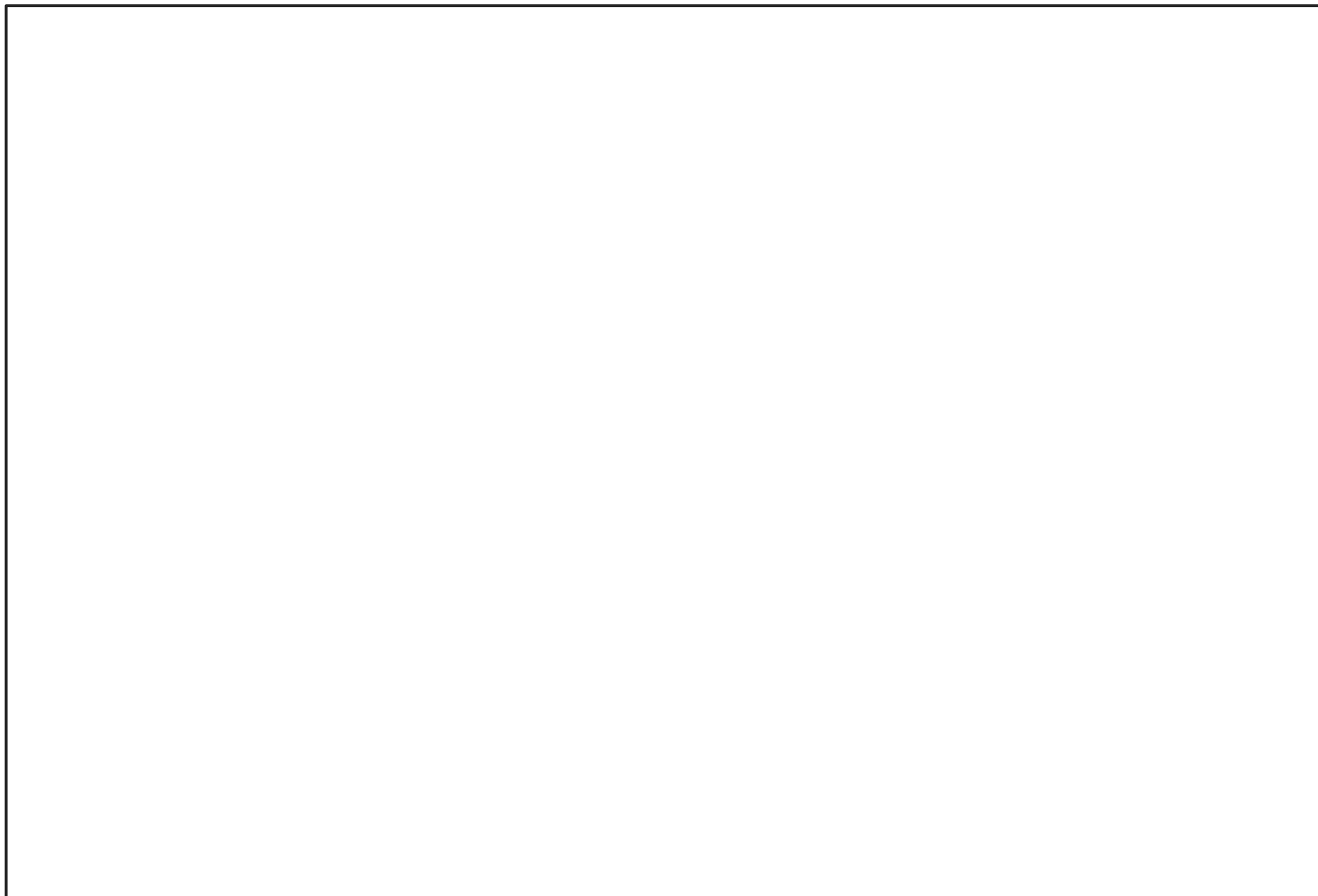


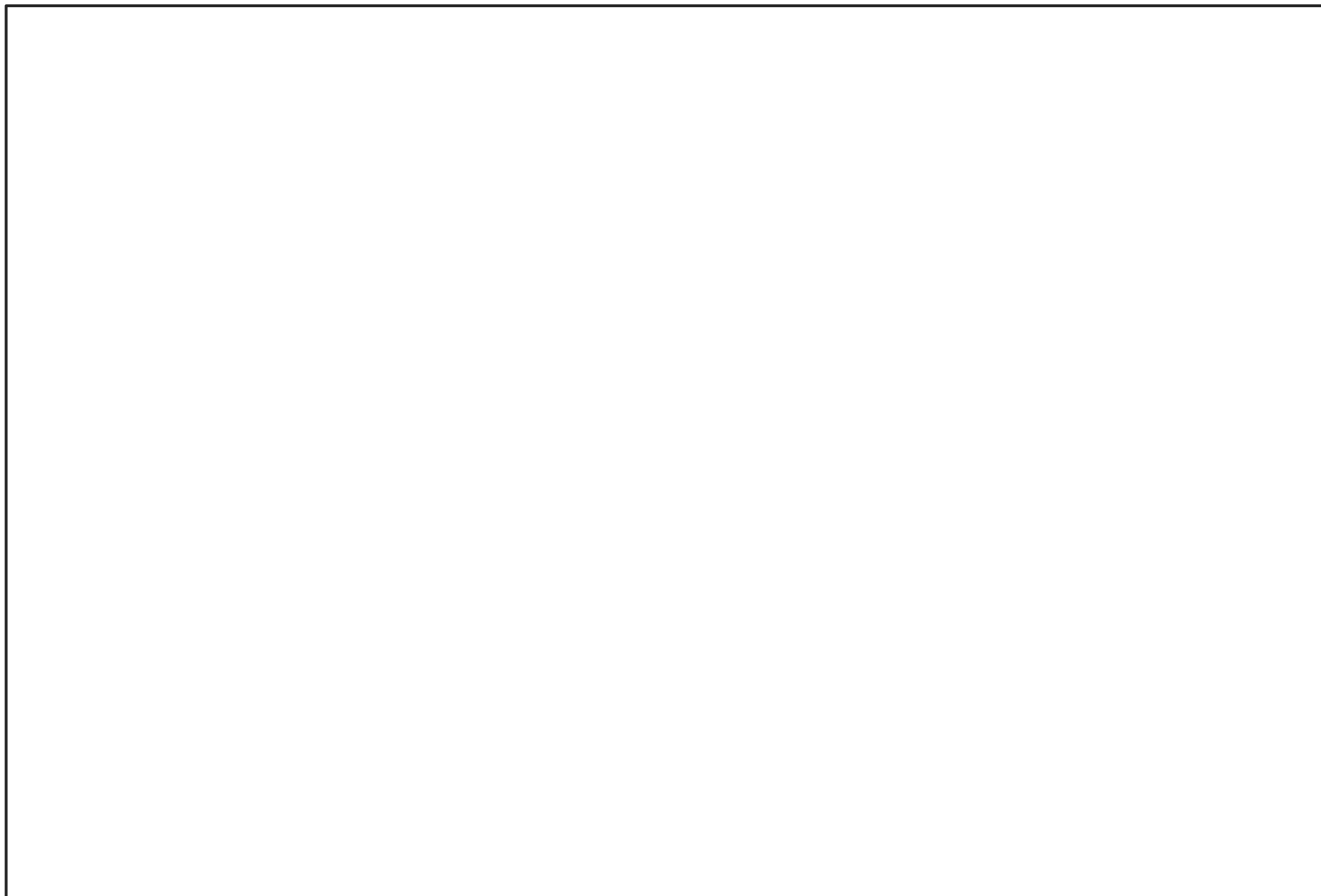
「第6回阿南市生物多様性フォーラム」のチラシ



「第7回阿南市生物多様性フォーラム」のチラシ

香川県 三豊市





香川県三豊市

香川県三豊市では、コウノトリの飛来や生息を契機に、地元のNPOが中心となり、コウノトリの定着に向けた生息環境づくりや監視・啓発等の活動が活発化しています。

【生息環境づくり】

◆コウノトリの採食環境の保全・再生

- ・岩瀬池周辺でコウノトリの保全活動を行っている、コウノトリを守る会が、コウノトリの採食環境の創出を目的として、岩瀬池周辺の休耕田でビオトープを3箇所整備し、継続して維持管理を行っています。

【取組主体：コウノトリを守る会】

◆コウノトリの営巣環境の創出

- ・2017年11月に岩瀬池周辺で、コウノトリの繁殖用の人工巣塔が、地域住民の手によって設置されています。

◆人の利用の調整

- ・コウノトリを守る会や三豊市によって、啓発看板（観察・撮影についてのマナーや発砲注意等）の設置が行われています。

【取組主体：コウノトリを守る会、三豊市】

- ・コウノトリを守る会によって、ビオトープへの人の干渉を避けるためのネットの設置が行われています。

【取組主体：コウノトリを守る会】

- ・コウノトリを守る会によって、コウノトリの観察者やカメラマンへのマナーを呼びかける監視が行われています。

【取組主体：コウノトリを守る会】



休耕田を活用して創出されたビオトープ



休耕田を活用して創出されたビオトープ



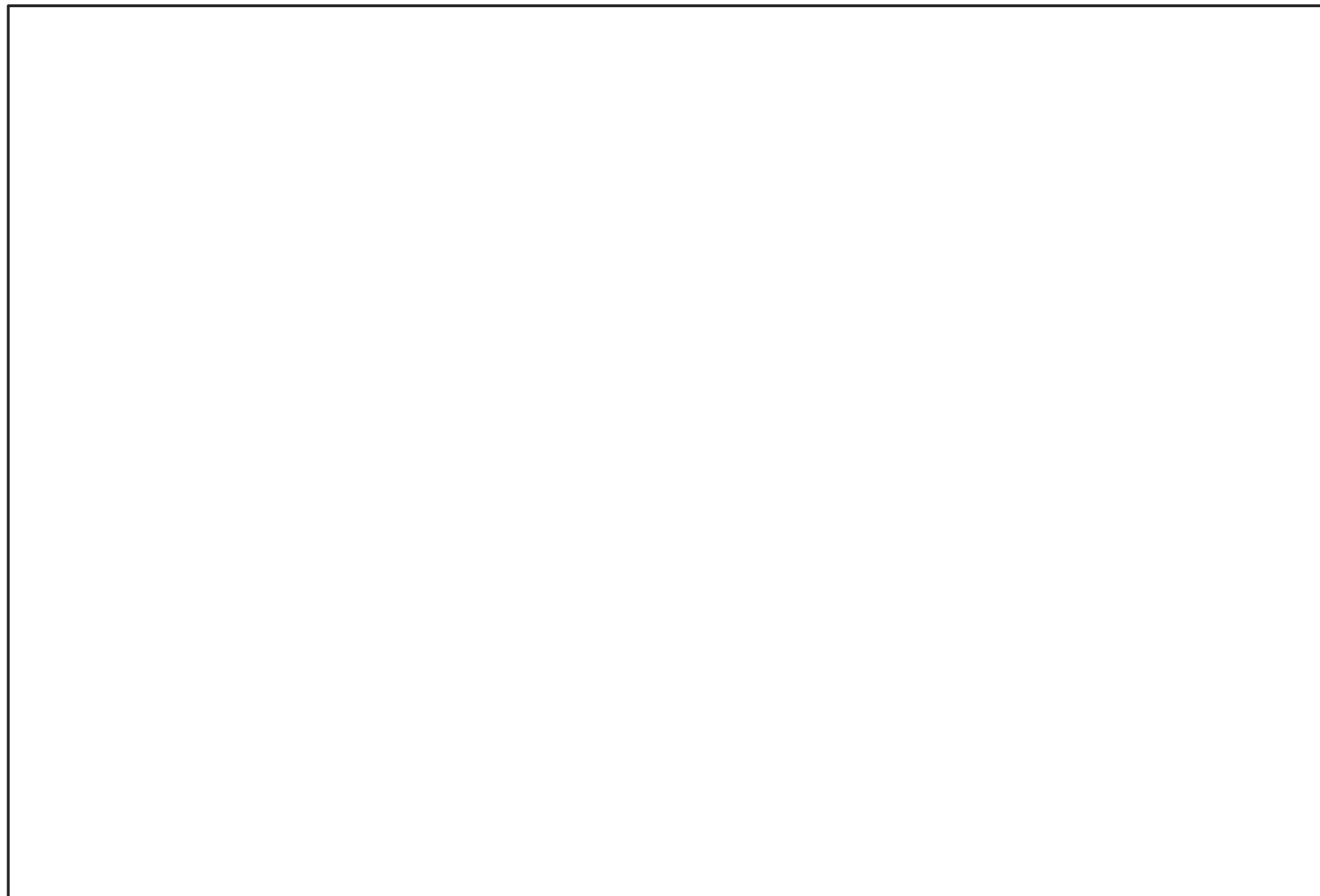
コウノトリの繁殖用の人工巣塔



発砲注意を促す啓発看板

愛媛県 西条市





愛媛県西条市

愛媛県西条市では、「生物多様性西条市地域連携保全活動計画」の策定・普及啓発、コウノトリ・ツル類の飛来が確認されている加茂川河口での自然観察会が行われています。

【地域・人づくり】

◆「生物多様性西条市地域連携保全活動計画」の普及啓発

- ・西条市では2015年に策定した「生物多様性西条市地域連携保全活動計画」で、ツル類の保全を盛り込んでいます。計画では中山川河口域を重点保全地区に設定し、現状維持を目標としています。計画は西条市のウェブページで公開され、市民への普及啓発が行われています。【取組主体：西条市】



「生物多様性西条市地域連携保全活動計画」

◆自然体験、環境教育の推進

- ・西条市では、コウノトリ・ツル類の飛来が確認されている加茂川河口において、子供達を対象に定期的に自然観察会を行っています。今年度は「干潟の生き物を観察しよう」をテーマに2019年6月29日に自然観察会が開催されました。【取組主体：西条市】



中山川河口
写真提供：西条市

◆情報発信

- ・西条市では、市のウェブページ「西条バードウォッチング」で、コウノトリやツル類を含め、西条市でこれまでに観察された野鳥を紹介しています。【取組主体：西条市】

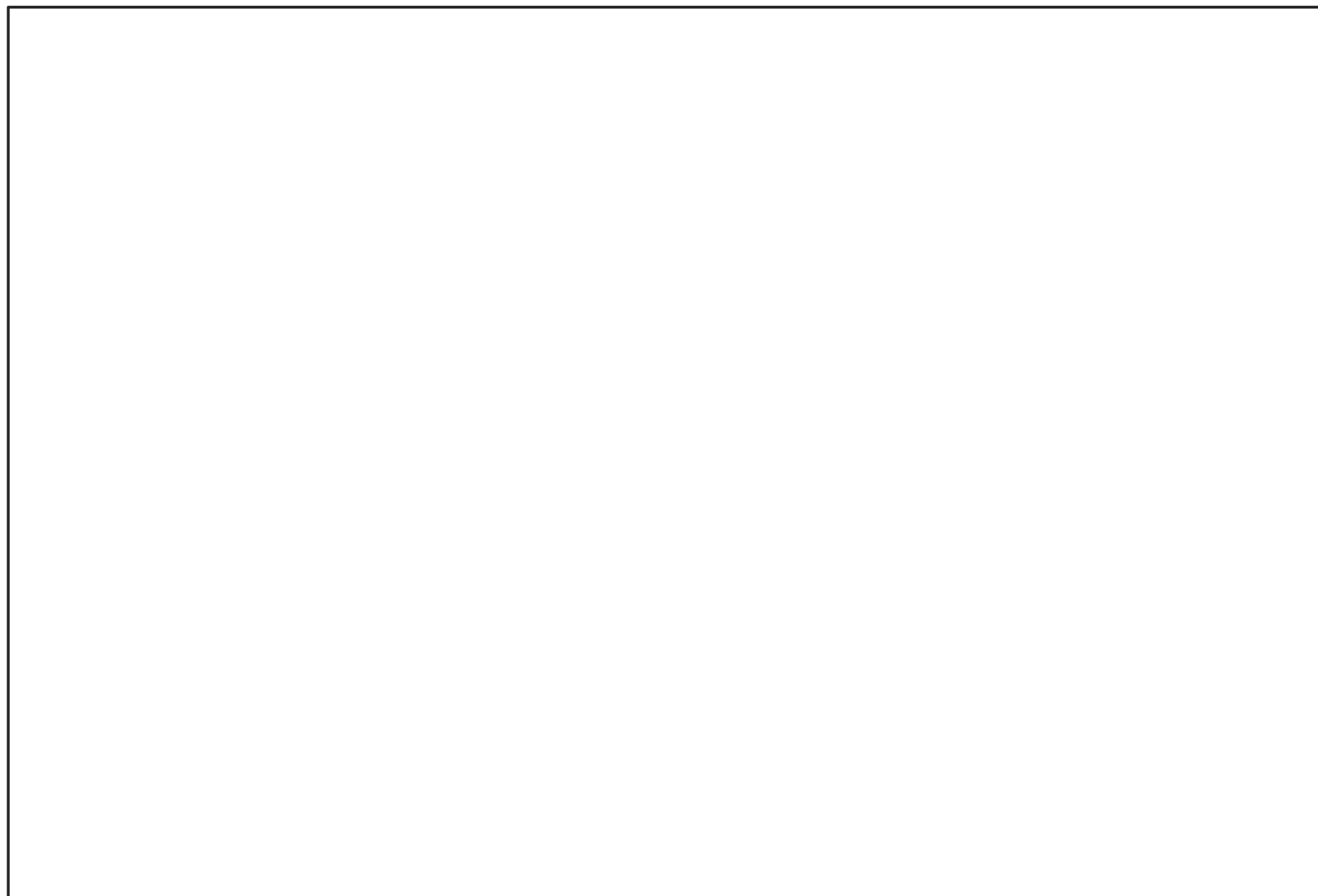


加茂川河口での自然観察会
出典：西条市ウェブページ



加茂川河口での自然観察会
出典：西条市ウェブページ

愛媛県 西予市





愛媛県西予市

愛媛県西予市では、西予市や愛媛県、農林水産省、日本野鳥の会、日本野鳥の会愛媛、地域団体・地域住民、企業等、多様な主体が関わり、コウノトリ・ツル類の生息環境づくりと地域・人づくりに関する取組が進められています。

【生息環境づくり】

◆コウノトリの採食環境の保全・再生

- ・地域の団体（宇和コウノトリ保存会）により、水田魚道が設置され、維持管理が行われています。

【取組主体：宇和コウノトリ保存会】

- ・愛媛県によって整備された、ため池の浅場の機能が保たれるよう、西予市が維持管理を行っています。【取組主体：西予市】

◆コウノトリの営巣環境の創出

- ・コウノトリの繁殖用の人工巣塔（地域住民や企業の協力のもと西予市宇和町に3基）が設置されています。

◆ツル類のねぐら環境の保全・再生

- ・地域の団体（宇和コウノトリ保存会）により、田んぼでの冬季湛水が行われています。【取組主体：宇和コウノトリ保存会】
- ・ツル類のねぐらとなるため池や水田の周辺に、西予市や地域住民によりイノシシ等の有害鳥獣の侵入を防ぐ防護柵が設置されています。
- ・愛媛県によって整備された、ため池の浅場の機能が保たれるよう、西予市が維持管理を行っています。【取組主体：西予市】

◆人の利用の調整

- ・ツル類の採食地となる水田への立ち入りを抑制するために、西予市によって「ツル渡来重点エリア」が設定されています。また、地域の団体（コウノトリ・ツルと共生する山田の会）により、ツル渡来重点エリア周辺でのマナー啓発看板の設置が行われています。【取組主体：西予市、コウノトリ・ツルと共生する山田の会】
- ・地域住民らにより「ツル・コウノトリ見守り隊」が結成されています。【取組主体：西予市】



地域の団体により設置されている水田魚道



ため池に整備された浅場

愛媛県西予市

【地域・人づくり】

◆自然体験、環境教育の推進

- ・ 2019年に（公財）日本野鳥の会、西予市、日本野鳥の会愛媛の共催で、地域の小学生を対象に、ツル類やコウノトリの飛来箇所での生物調査等を行う「ツル・コウノトリから学ぶ地域学習」が開催されました。

【取組主体：（公財）日本野鳥の会、西予市、日本野鳥の会愛媛】

- ・ 山口県周南市の八代小学校の生徒が2020年1月23～24日にかけて西予市の石城小学校を訪問し、ツルに関する取組について交流が行われました。※昨年は石城小学校の生徒が八代小学校を訪問

【取組主体：石城小学校、八代小学校、西予市】

- ・ 宇和コウノトリ保存会や西予市により、コウノトリ観察小屋とツル観察小屋が設置されています。

【取組主体：宇和コウノトリ保存会、西予市】



「ツル・コウノトリから学ぶ地域学習」

写真提供：西予市



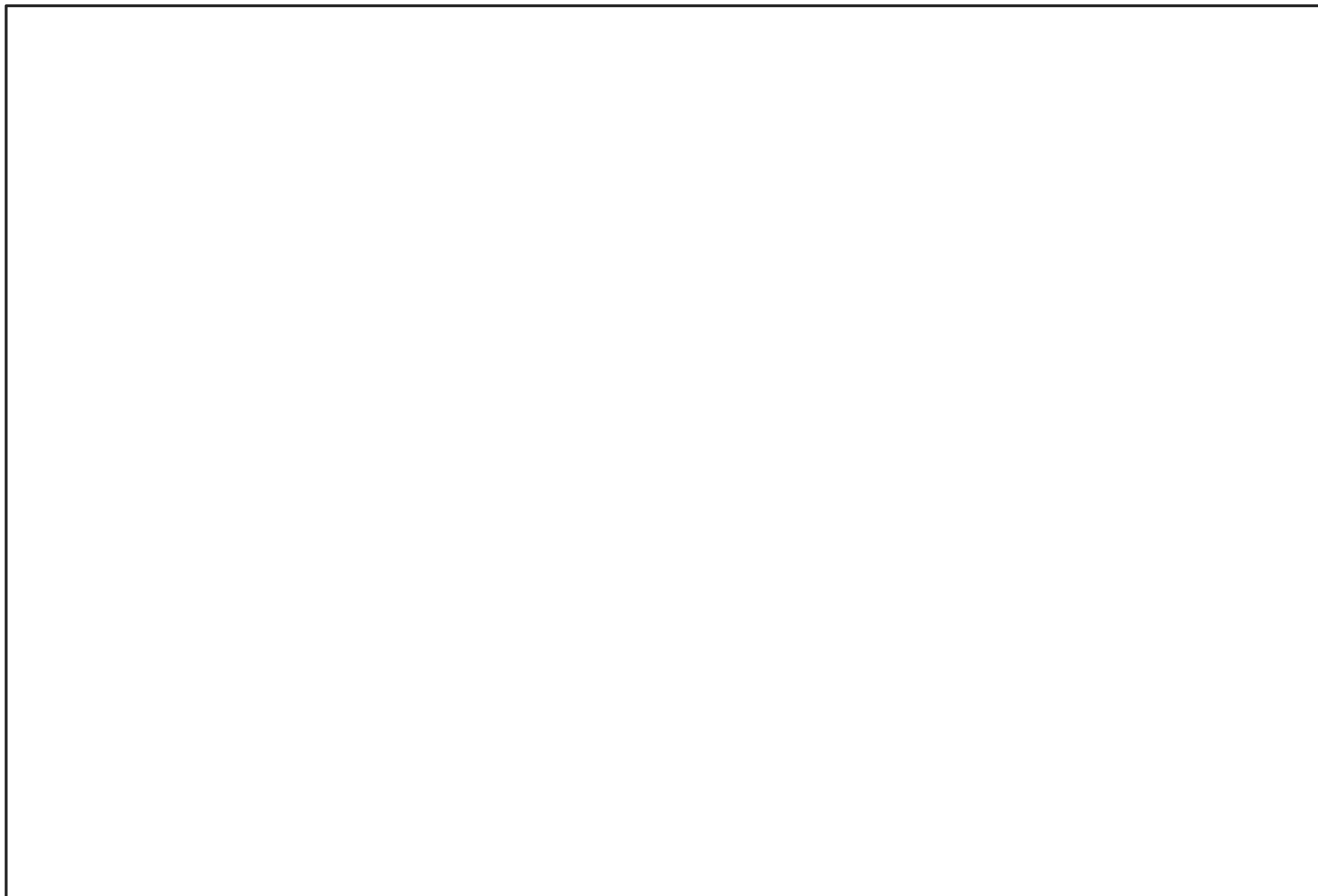
八代小学校と石城小学校の交流

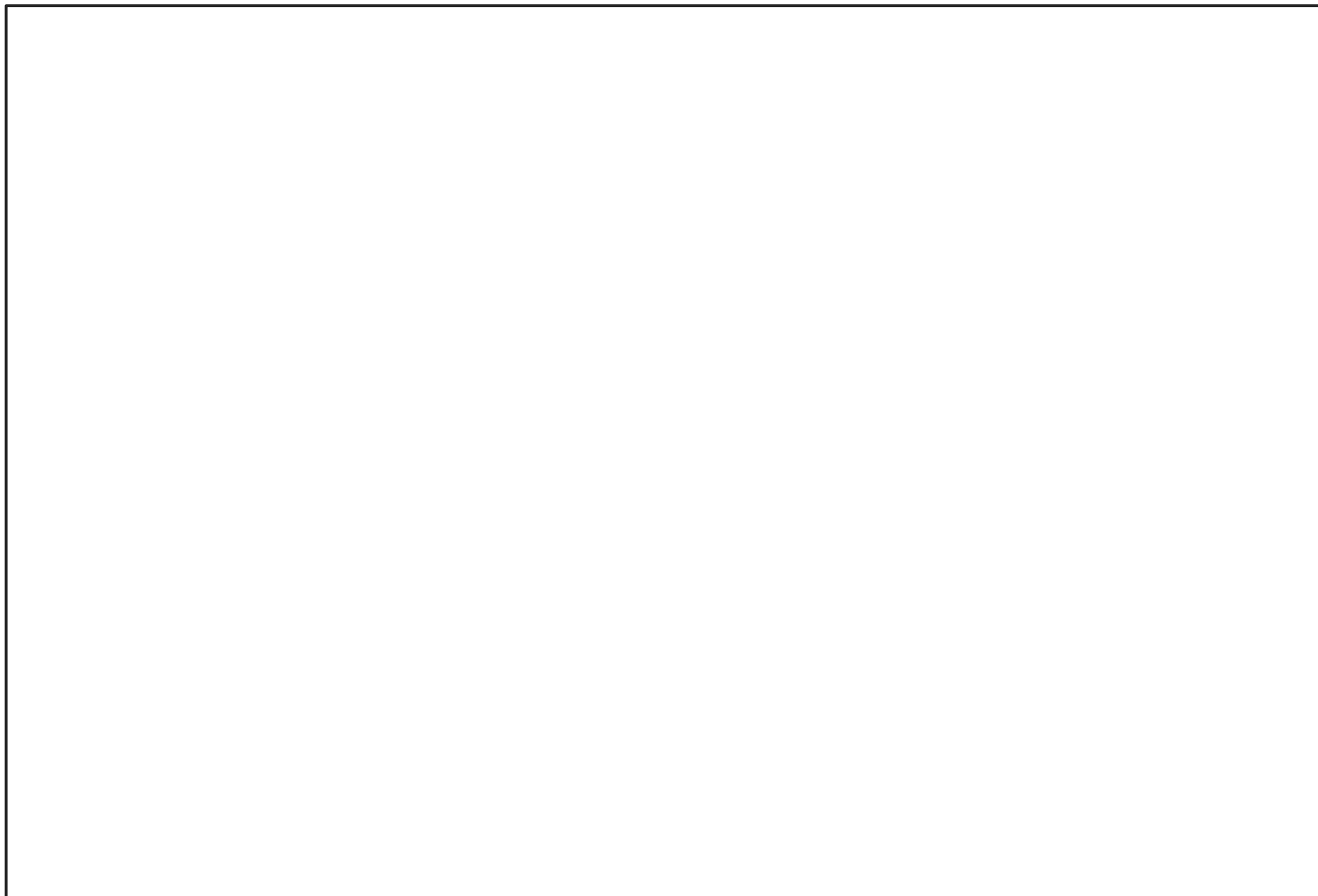
写真提供：西予市



ツル観察小屋

高知県 四万十市





高知県四万十市

高知県四万十市では、2004年度から自然再生事業の一環として、ツル類の越冬地環境の整備を目標とする「ツルの里づくり」が始まりました。2006年に「四万十つるの里づくりの会」が設立され、周辺の自然環境の保全・整備を促進し、地域の活性化を目的として、関連主体の連携した取組が続けられています。

【生息環境づくり】

◆ツル類の採食環境の保全・再生

- ・中筋川の自然再生事業箇所（中山箇所と間箇所）について、ツル類の採食地となるよう、中村河川国道事務所により、継続して維持管理が行われています。

【取組主体：中村河川国道事務所】

- ・堤内地の休耕田を整備した箇所（江ノ村箇所）について、ツル類の採食地となるよう、四万十つるの里づくりの会により、湿地の管理や二番穂確保の取組が行われています。

【取組主体：四万十つるの里づくりの会】

◆ツル類のねぐら環境の保全・再生

- ・中筋川の自然再生事業箇所（中山箇所と間箇所）について、ツル類のねぐら環境となるよう、中村河川国道事務所により、継続して維持管理が行われています。

【取組主体：中村河川国道事務所】

- ・江ノ村箇所について、ツル類のねぐら環境となるよう、四万十つるの里づくりの会により、水田での冬季湛水が試行されています。

【取組主体：四万十つるの里づくりの会】

◆人の利用の調整

- ・ツルを見かけた場合の諸注意を啓発するリーフレットの配布や看板の設置が行われています。

【取組主体：四万十つるの里づくりの会】



中筋川の自然再生事業箇所（間箇所）



江ノ村箇所

【地域・人づくり】

◆自然体験、環境教育の推進

- ・ 四万十つるの里づくりの会と中村河川国道事務所の主催で、地元の東中筋小学校、東中筋中学校の生徒を対象とした「ツルの自然体験学習会」が行われました。
（2019年6月28日に夏の学習会、2019年11月12日に秋の学習会を開催）。

【取組主体：四万十つるの里づくりの会、中村河川国道事務所】



夏の「ツルの自然体験学習会」

写真提供：中村河川国道事務所



秋の「ツルの自然体験学習会」

写真提供：中村河川国道事務所

◆取組の情報発信

- ・ 四万十つるの里づくりの会の主催で、11回目となる「四万十つるの里祭り」が2019年12月7日に開催されました。また、「四万十つるの里祭り」の開催と合わせて、中村河川国道事務所により、「ツル観察バスツアー」が行われました。

【取組主体：四万十つるの里づくりの会、中村河川国道事務所】

- ・ 四万十つるの里づくりの会により会報「四万十つるだより」が発行されています。

【取組主体：四万十つるの里づくりの会】

- ・ 四万十つるの里づくりの会のウェブサイトで、四万十市へのツル類の飛来状況や保全に関連する取組についての情報発信が行われています。

【取組主体：四万十つるの里づくりの会】



第11回四万十つるの里祭り

写真提供：中村河川国道事務所



ツル観察バスツアー

写真提供：中村河川国道事務所

令和元年度のナベヅル確認個体数推移

